

教科名	地歴科	科目名	地理総合	学年	3年	単位数	2
教科書	帝国書院『高校生の地理総合』		副教材	世界の諸地域 NOW・高校生の地理総合ノート			

1 科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、現在ある課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び、社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習について

① 予習・復習の方法

予習：予想される本文を2ページ程度読み、不明な用語・語句の意味調べなどを行う。

復習：授業を通して、理解できたこと、分からなかったところを確認する。

② 授業における学習方法と家庭学習の方法

授業は常に積極的に理解に努める姿勢で向かい、自ら思考する努力をする。ノートは復習しやすい取り方を念頭に書く。授業後はその日の学習内容について、要点を自分の言葉でノートにまとめる。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	・球面上の世界と地図 ・国家の結びつきとグローバル化する社会	・地球が球体であることからくる実感と実際の違いを理解する。 ・国家の結びつきやグローバル化がどのような背景から進展したのか。その功罪と今後の進展を各種の資料を基に探究する。
	前期 期末	・生活文化の多様性 ・地球的課題と国際協力（SDGs 17の目標）	・生活文化の各要素を通して、世界各地の多様性について理解する ・SDGs 17の目標のうち、人々の尊厳と平等、自然と調和した豊かな社会に向けて、具体的課題を取り上げて探究する。
後期	後期 中間	・地球的課題と国際協力②	・SDGs 17の目標のうち、現役世代と将来世代のために、平和で公正な社会に向けて、具体的課題を取り上げて探究する。
	学年 末	・持続可能な地域づくりと私たち	・自然環境と防災について、身近な地域を事例に取り上げ、対策を考えるとともに、持続可能な地域作りの一環として、地域振興のための問題を取り上げ探究し発表する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
様々な学習を通して、基礎的知識を身につけるとともに情報を収集すること・情報を読み取ること・情報をまとめることができる。	地理的事象の存在・変化する意味を自然環境や歴史的背景を踏まえて思考し、SDGsの観点から今後のあべき姿を判断・表現できる。	地理に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究・解決しようとする態度を養う。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…40% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…30%